

生駒市こども計画にかかる基本理念（案）

こども計画で実現を目指す姿を「基本理念」という形で定めたいと思います。

背景としては、先ほどの現状と課題でも共有しましたが、日本のこどもの精神的な幸福度は低く、自己肯定感は成長するにつれて下がる傾向にあります。本市のこどもにあっては、将来の夢や目標をもっているこどもの割合は全国平均よりも低く、また、家や学校以外に居場所があるこどもは少なく、親や学校の先生以外に困り事を相談できるような大人と出会える機会が少ない状況です。関係機関や地域でこどもと関わる活動をされている方々からお聞きすると、親の価値観に取り囲まれて親の期待に応えながらも窮屈に生きているこどもの姿や、親が敷いたレールの上を進んでいるうちは良いのですが、親の価値観から外れた時に、どうしていいか分からず鬱になったり、不登校になったり、生きづらさを感じながら、自分の価値観に不安を感じつつ、周りの大人への気遣いから素直に自分の想いを表現できずに思い悩んでいる姿を想像します。現在対応している約 800 件もの児童虐待相談の案件では、実の親から著しく自尊心を傷つける言葉を繰り返し浴びせられるような心理的虐待を受けたり、食事を与えられない、衣服を着替えさせてもらえないようなネグレクトを受けるなど、家庭で適切な養育を受けられないこどももいます。

そうした背景がある中で、本こども計画では、すべてのこども・若者が、ありのままの自分を一人の人間として受け入れられ、個性や多様性が尊重されながら、心身の状況や置かれている環境にかかわらず、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せに生活を送れることができるまちを目指します。

また、このように、こども達が幸せに暮らし成長していけるように、誰もが安心してこどもを産み育てることができるまちを目指すとともに、「地域のこども達の未来はまちの未来に繋がる」ということを認識し、こどもの将来にとって一番良いことは何かを考え、「大人みんなで地域のこども達を大切にする文化」をこの生駒のまちで醸成していきたいと思っています。

こうした思いから、基本理念として、

こどもが自分らしく幸せに育ち、大人みんながこどもとその未来を大切にするまち

を実現していきたいと考えました。

なお、本市のこども計画は、奈良県のこども計画を勘案しつつ、本市の総合計画とも整合を図る必要があることから、奈良県の基本理念とともに、総合計画に掲げる将来都市像の想いを踏まえて、案を作成いたしました。基本理念の説明は以上です。

(参考)

○奈良県こどもまんなか未来戦略案

(基本理念)

すべてのこども・若者が、将来に夢と希望を抱きながら、個性や多様性が尊重され、ひとしく健やかに成長し、幸福な生活を送ることができる、あたたかい奈良県を目指します。

○第6次生駒市総合計画

(将来都市像)

生駒市自治基本条例において「市民は、まちづくりの主体であり、まちづくりに参画する権利を有する。」と定めており、様々な能力や経験をもった市民や地域の力はまちづくりの推進力です。多様な生き方や暮らしをかなえる機会や場、人と人のつながりが豊かにあるまち（ステージ）で、主役である市民が、仲間を得て、夢をかなえ、輝く人生を送れるようまち全体が応援してくれる、そういうまちへ進んでいくことを目指して、将来都市像を次のように掲げます。

自分らしく輝けるステージ・生駒